

西宮市議会議員  
無所属・市民派

# よつや薫の市議会報告

《E-Mail》kahoru\_y-net@nifty.com  
《ホームページ》http://homepage2.nifty.com/kirari-k-net/  
《ブログ》http://kirarinet.exblog.jp/

よつや薫

2012  
初春号



## 2012年 3月 議会日程

2月24日	本会議	行政方針	提案説明
3月1～2日	本会議	代表質問	
3月5日	本会議	一般質問	請願・陳情締切り
3月6～7日	本会議		
3月8日	本会議	一般質問、質疑、委員会付託、	予算特別委員会全体会
3月12～13日	常任委員会		
3月14日	病院問題特別委員会		
3月15～21日	予算特別委員会分科会		
3月22日	予算特別委員会分科会(病院問題分科会)		
3月26日	予算特別委員会全体会	本会議	委員長報告、討論、採決

傍聴にぜひ、  
お越し下さい。

## ● INFORMATION

市民オンブズ  
西宮

### 定例会

■毎月第一金曜 18:30～20:30  
■会場：ウェーブ  
(変わることがあります。ご確認を)  
□連絡先：TEL 0798-52-9157(折口)

女・女西宮

### 女・げんき・ビデオ&トーク

■毎月第二金曜日 19:00～  
■会場：ウェーブ411学習室  
□連絡先：Jojonisinomiya2010@yhoo.co.jp

アットホーム  
ホスピス

【みんなで考えよう☆男の介護】

### オランダの尊厳死に聴く

①オランダと日本の違い《1月28日(土)》  
②帰国、死別後の家族の歩み《2月4日(土)》

■14:00～16:30 ■語り手：小嶋紳司  
■参加費：無料(要申込)  
■会場：ウェーブ411学習室  
□連絡先：TEL 0798-65-2201(吉田)

## 編集後記

3年前、西宮市の第三セクター「フレンテ西宮」の管理会社・西宮都市管理株式会社への1億5000万円の短期貸付を市長が専決処分で行いました。権限の範囲とはいえ予算審議を終了直後の多額の市税投入に権限濫用の声もありました。12月議会では、その対応策でもある議員提出議案「西宮市第三セクター等への関与に関する条例」を全会一致で可決しました★「全会一致」といえば12月議会で本文3pの珍事。常任委員会で全会一致で採択された請願が、本会議では反対多数で否決、不採択。実は、4年前にも3月議会の総務常任委員会で「全会一致の採択」が本会議は一転、反対多数で否決ということがありました。当時は新聞で「前代未聞」と書かれていましたが、もはや4年に一度の恒例か★NHKスペシャル「知られざる放射能汚染」で海洋汚染や河川の注ぎこむ湖の汚染が明らかに。また、東京湾など大都市圏として世界初の大規模な放射能汚染と指摘しています。しかし政府方針は原発稼働「最長60年」を容認。現実の深刻さにここまで鈍感なのか。(四津谷薫)

市政に関するご意見、よつや薫の通信へのご意見感想など、なんでもお寄せ下さい。TEL/FAX 0798 (22) 8832

●「よつや薫の市議会報告」は第1号から「通信・広報費」として上記のとおり、議員報酬から支出しています。政務調査費からの支出はありません ●

## よつや薫 収支報告 2011年10月～12月

収入の部		支出の部	
議員報酬	2,061,000	所得税	185,400
		国民年金	45,060
		県市民税	166,000
		国民健康保険	219,000
		議員互助費	9,000
		通信・広報費	348,239
		議員活動費	446,440
		選挙予備費	150,000
		生活費	491,861
		合計	2,061,000
合計	2,061,000	合計	2,061,000

※「議員活動費」には、議員としての事務費、交通費、各団体への会費、議会で使用するパソコン、人件費、活動用車両の維持費、ガソリン代、駐車場代、ホームページ維持費、プロバイダー代、電話代などを含んでいます。

## 政務調査費収支報告(2011年6月11日～12月)

交付額		支出	
	550,000	調査研究費	11,810
		研修・会議費	37,690
		資料購入費	64,127
合計	550,000	合計	113,627
		返還予定額	436,373

## 政務調査費の支出について よつやの考え方

政務調査費は月額15万円。年額180万円を四半期ごとに申請して45万円ずつが交付されます。

今年度は、6月10日までの前任期が35万円(既に収支報告済み)で、6月11日から今年3月31日までの新任期分は145万円です。しかし常に年額90万円に削減と主張してきた立場から、今年度は合計90万円の申請にとどめました。したがって新任期分は145万円ではなく、上記のとおり55万円のままです。

☆ブログ更新中!! ぜひのぞいてみてください。  
⇒ <http://kirarinet.exblog.jp/>

お気軽にご参加ください



次回の **キラリ☆かおる市民ネットの会議**  
2月26日(日) 14:00～16:00  
会場：西宮市男女共同参画センター ウェーブ  
テーマ：3月議会と予算委員会展望など

## キラリ☆かおる市民ネット通信 No. 19 《2012年初春号》

【発行】よつや薫(西宮市議会議員)  
〒662-0965 西宮市郷免町3-22  
議員控室 TEL(35)3539

## 給食食材の放射性物質検査…3学期から始まっています

1. 給食に入荷する食材について放射能検査を行い、検査を行った食材のすべての数値を公表してください。

2. 食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」(平成23年8月4日原子力災害対策本部決定)に定められた総理指示対象自治体及びその隣接自治体の食材を優先的に検査をしてください。

という内容の「食材の放射線被曝における学校給食検査体制についての請願」が12月議会に、「3.11西宮子どもの未来を考える会」から出されました。



私はこの請願の紹介議員の一人となり、議会の各会派もいずれも賛成し、全会一致の採択となりました。

西宮市教育委員会はこの請願を受け3学期から、給食の食材の放射性物質検査を実施しています。「1週間分の給食を1検体とし、厚生労働省登録検査機関に検査を委託します。なお、検査結果は、西宮市のホームページで公表します」(教育委員会)というものです。

### 請願採択を受けた放射性物質検査

市は、昨年9月議会では、放射線測定機器3台の購入を決め、市内に流通する食品の簡易検査の実施に向けて動き出していたことは、通信の前号でも報告したとおりです。

しかし、給食は毎日のことであり、しかも放射能に感受性の強い子どもたちの健康を考えると、保護者の方たちの不安は払拭できませんでした。

教育委員会は、この請願をうけ、より詳細な検査が可能な外部委託による検査の実施を決め、迅速に対応したものです。

◀「西宮子どもの未来を考える会」の皆さんが後日、この請願内容に加えて要望書を出されました。(写真、正面左から、菌保健所長、河野市長、眞鍋教育長)

## ■市立中央病院の方向性について

パブリックコメント

### あなたのご意見を反映させましょう

12月議会の「病院問題特別委員会」では「西宮市新病院基本構想(素案)」が市から報告され、現在西宮市は、この素案に対して、市民の意見(パブリックコメント)を募集中です。

この基本構想(素案)は「西宮市立中央病院移転整備等検討委員会」の答申をうけて、中央病院の再整備と、抜本的な経営改革を進めるために、市がその基本的な考え方を整理、策定したものです。市立中央病院の赤字経営と、老朽化した施設を今後どうするかなどが盛り込まれています。

この素案では、

新病院の役割として救急医療、がん医療、災害・広域的呼吸器感染症対策を担う。

診療体制としては、診療科を16から7診療科(内科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、放射線科、麻酔科)に削減。急性期医療への特化と高度医療を実現する。

などとしています。

自治体病院のあり方に詳しい専門家は、公立病院の存在意義として、民間病院が担わない不採算分野(小児、産科、救急)を担う、災害拠点の病院となる、高度医療を担うなどと指摘しています。中央病院のあり方の、ひとつの判断材料になるのではないかと思います。

「西宮市新病院基本構想(素案)」は、中央病院や市役所本庁舎をはじめ、各支所などにもありますが、西宮市のホームページからもみられます。

パブコメの期間は2月10日までです。皆さんのご意見をぜひ、市政にお届け下さい。

### 無所属議員で議長へ申し入れ…議会運営関連

11月22日、無所属議員4名(よつや、たかはし、岸、谷本)の連名で議長あてに、「議会運営に関する申し入れ」を行いました。

申し入れ項目は、以下のとおりです。

- 一. 議会運営委員会、議会改革特別委員会をはじめとする公式委員会の参加は、無所属議員からも選出することができるようにする。
- 二. 質問時間は、一人30分とし(答弁は含まず)、議員平等の持ち時間とする。
- 三. 「議会だより」の採決表は、他市の事例のように、議員全員の名前を記載した上で、無所属議員も含めた全議員の採決態度を掲載する。
- 四. 請願・陳情の提出者の意見表明の機会を設ける。
- 五. 議会費に関しては、**政務調査費は半額、議員報酬は1割削減**とする。

一～三については、会派所属議員と無所属とで異なる取り扱いをするべきではないことから、あえて申し入れたものです。四については、その後の議会改革特別委員会でも協議されています。問題は、議会全体として議論がすすまない五です。

政務調査費に関しては、他市と比べて西宮市議会が高額であることから、他の近隣議会と同額の「半額」にすべきと常に言ってきました(4頁参照)。報酬については、公務員や民間の給与の状況、他市の議会との比較などで考えた場合の最低限の削減幅と私は考えています。

今後、協議をする(関連記事下段)としていますが、会派に属さない**無所属議員は議会運営委員会、議会改革特別委員会などの協議の場につけず、発言の場がない**ことから、今回の申し入れを行ったものです。

## 来年度、議員に支給される議会費…結局、今年度と同じです

「すでに議員特権などない」という委員もおられますが…。これは特権ではない？

議会改革特別委員会では、来年度予算の議会費、特に議員へ支出される項目についての協議が12月末までにありました。来年度の予算要求としては今年度と同額(下記)で委員会としては一致しています。

### ①常任委員会管外視察旅費…1人当たり13万円。

(常任委員会視察のみに使用。3頁参照)

### ②正副委員長への報酬加算

…議運正副委員長3万円、2万円をそれぞれ加算。

常任委員会正副委員長は同じく2万円、1万円。

### ③議員互助会への市補助金

…人間ドック受診料補助、合計60万円

※来年度も政務調査費と議員報酬の削減はありません。ただ、政調費10%削減と報酬削減の提案が一部の会派からあり、今年度末までに協議の予定です。政調費は仮に10%削減しても、近隣他市よりも高額です。

- ①の「常任委員会視察」については3頁の通りです。
- ②の**役職報酬加算**は、他市の議会ではほとんどこの加算自体がありません。したがって、私はこれまで、一貫して廃止すべきと主張してきたものです。しかし、現在の議会改革特別委員会では一つの会派を除いて、加算ありきの議論が続いています。
- ③も廃止すべきです。人間ドックの受診は各議員の自由意思です。なぜ“市の補助金”が必要なのか、市民の理解が得られているとは思えません。

私は、政務調査費5割削減  
報酬1割以上の削減を主張  
しているんです。



なくそう！議員特権 ⑩

● “消費税増税に反対の請願”に賛成

1 ページで紹介議員になった請願以外で、総務常任委員会では「国民への負担増をあらたに強いる『社会保障・税一体改革成案』に反対し、社会保障の充実・改善を求める請願」がありました。私は委員会で賛成し、本会議で賛成討論を行いました。消費税 10%に引き上げることは、低所得者ほど税負担率が重くなるという逆進性となり、年金支給年齢の引き上げがより高齢者の貧困化を招くなどの理由です。

● 常任委員会で「全会一致で採択」の請願が

→本会議では反対多数で「否決」の珍事

議案審議は、委員会での協議と採決を経て、本会議(全議員)の採決で決まります。ほとんどの場合、委員会審査の結果が本会議の採決と一致します。

ところが12月議会、市民文教常任委員会で「全会一致」で異議なく採択された「最低保障年金制度の創設を求める請願」が最終日の本会議では反対多数で否決されるという珍事がありました。

本会議では公明党と政新会(自民系党派)はこの請願に「反対」し、その2会派の市民文教常任委員会に属する議員計4人は、会議規則上、表決の訂正(賛成⇒反対)をすることは許されないため本会議採決の際に退場しました。市民にはわかりにくい、委員会審査の軽視とも思える一幕でした。

● 陳情の受理を縮小することは憲法違反では？

上記のように緊張感のない委員会審査が行われている一方、議会改革特別委員会では「陳情」に対する扱いを従来よりも狭めようという動きがあります。

郵送で送られる陳情や他市の住民からの陳情について「陳情」としては受け付けず「要望書」に、という意見まで出ているのです。

そもそも「陳情」は憲法ですべての人に保障される請願権に準じる権利として西宮市議会では「請願」と同様に委員会審査の対象としてきたものです。

今後の協議を注視する必要がありますが、陳情者の範囲を限定することは請願権の制限とも考えられ、議会としてはより慎重な協議が必要だと思います。

常任委員会視察はどの委員会も、毎年1回、9月議会と12月議会との間に概ね2泊3日の日程を組み、行っています。

私の所属する総務常任委員会は、今年度11月9日～11日、東京都足立区(「包括予算制度」、神奈川県川崎市(「公契約条例」、厚木市(「防災対策」、小田原市(「人事評価制度」)の各テーマ(括弧内)について伺ってきました。



(川崎市での質問風景)

この視察については、今、議会改革特別委員会でもそのあり方が協議されています。

その議論の中で、「費用対効果がよくない」、「全員で同一のコースに参加することの見直し」、「委員会視察に参加しない自由を保障すべき」などの意見も出ており、私も常任委員会のメンバー全員で参加しなければならない現在の視察のあり方には疑問を感じています。費用対効果や視察後の調査結果を市政にどう活かすかなどの検証が全くなされていなかったことも問題だと思います。

議会費と市の補助金という違いがありますが、どうしても現地に赴かなければできない調査であれば、政務調査費で「調査研究費」として行くべきで、その場合は、議長あての収支報告に視察の報告書を添付すればよいと思います。

ちなみに、今回の総務常任委員会管外視察、2泊3日の議員一人あたり視察費用は60,250円でした。

予算額としては、来年度も、議員一人あたり13万円が計上されます(2頁参照)。この額は、別の委員会で過去に北海道方面に視察した際の額が反映しています。

…… 議会費も税金です！

勉強会・講座・シンポジウム…参加報告

【フォーラム「番号制度シンポジウム」に参加】…政府が導入する「共通番号」の利便性と問題点

政府がこの通常国会での成立を旨とする共通番号制度(通称「マイナンバー」)の概要の説明、パネルディスカッション、質疑などのシンポジウムが1月15日兵庫県公館であり、一般参加してきました。

政府は「社会保障の充実」「税の公平・公正」「国民等の利便性」の実現として、具体的には年金、医療、介護保険、福祉、労働保険の社会保障分野、税務分野での利用を予定しています。

運用していく上での行政、公的機関の利便性はわかるのですが、それがなぜ「社会保障の充実」につながるのか、にわかには理解できませんでした。

一方、最も懸念される「番号の悪用」や個人情報の漏洩について、その疑問点は拭えませんでした。

他人が個人の「番号」とその情報に簡単にアクセスできる危険性が増すのではないかと、という危惧です。特に高齢社会を迎えてプライバシー情報が一番狙われやすいのは、他でもない社会保障が最も必要な高齢者です。

また、この制度導入にあたって、初期費用、数千億円(約4000億円とも)、その後のランニングコストは、数百億円/年という数字も報告されました。住基ネットのシステムが巨費を投じてどれほどの利便性と経費削減をもたらしたのか、そして、個人情報の漏洩や情報の一括管理の問題点の総括もできないまま、またしても一部の情報関連産業だけが潤う大型公共事業の導入、との見方もあります。